

日本－イスラエル 国際共同研究「レジリエントな社会のためのICT」 平成 28 年度 年次報告書	
研究課題名（和文）	人間を系に含むマルチエージェントレジリエント最適化
研究課題名（英文）	Resilient human-in-the-loop multiagent optimization
日本側研究代表者氏名	横尾 真
所属・役職	九州大学 大学院システム情報科学研究所 主幹教授
研究期間	平成 29 年 1 月 20 日～平成 32 年 3 月 31 日

1. 日本側の研究実施体制

氏名	所属機関・部局・役職	役割
横尾 真	九州大学・大学院システム情報科学研究所・主幹教授	本研究課題の総括
櫻井 祐子	九州大学・大学院システム情報科学研究所・准教授	最適化技術開発
東藤 大樹	九州大学・大学院システム情報科学研究所・助教	選好統合技術開発

2. 日本側研究チームの実施概要

WP1 および WP2 の各研究項目に関して、次年度以降の研究方針の策定と、基礎的な成果の獲得に成功している。（成果発表については下のリストを参照のこと。）

イスラエル側との共同研究の状況としては、WP1 の提携構造形成問題に関して、イスラエル側の機関であるバーイラン大学との実質的な共同研究が既にスタートしており、計画以上の研究成果が期待できる。

WP2 でも、イスラエル側との共同研究の具体的な計画が立っており、平成 29 年 6 月に

は、代表者の横尾および WP2 の東藤がバーイラン大学を訪問し、詳細な研究打合せ・意見交換を行う予定である。

成果発表の一覧：

- * Fuuki Shigenaka, Tadashi Sekiguchi, Atsushi Iwasaki, Makoto Yokoo, "Achieving Sustainable Cooperation in Generalized Prisoner's Dilemma with Observation Errors", The Thirty-First AAAI Conference on Artificial Intelligence (AAAI-2017), San Francisco, USA2017/02/06.
- * Naoto Hamada, Anisse Ismaili, Takamasa Suzuki, Makoto Yokoo, "Weighted Matching Markets with Budget Constraints, The 16th International Conference on Autonomous Agents and Multiagent Systems (AAMAS-2017)", Sao Paulo, Brazil, 2017/05/10.
- * Nathanael Barrot, Jerome Lang, Makoto Yokoo, "Manipulation of Hamming-based Approval Voting for Multiple Referenda and Committee Elections", The 16th International Conference on Autonomous Agents and Multiagent Systems (AAMAS-2017), Sao Paulo, Brazil, 2017/05/11.
- * 大田一徳, 櫻井祐子, 横尾真, 「ヘドニックゲームにおける新たな選好モデルの提案とコア安定性の解析」, 第 31 回人工知能学会全国大会 (JSAI-17), ウィンクあいち (愛知県名古屋市), 平成 29 年 5 月 25 日.
- * 和田勇歩, 小野友寛, 富永優仁, 東藤大樹, 横尾真, 「2 次元格子空間上の施設配置問題におけるパレート効率性の考察」, ウィンクあいち (愛知県名古屋市), 第 31 回人工知能学会全国大会 (JSAI-17), 平成 29 年 5 月 24 日.
- * 山口知晃, 張語哲, 濱田直斗, 鈴木貴晶, 横尾真, 「下限制約と初期保有財を考慮した学校選択メカニズムの特徴付け」, 第 31 回人工知能学会全国大会 (JSAI-17), ウィンクあいち (愛知県名古屋市), 平成 29 年 5 月 26 日.